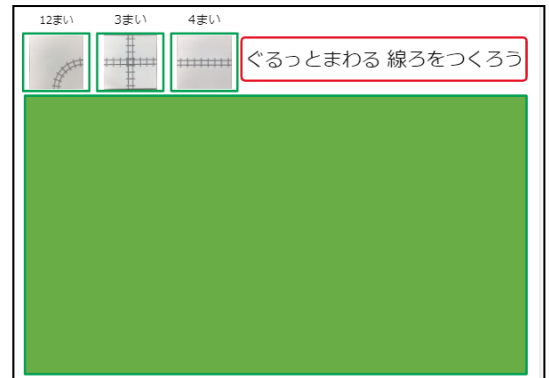


ぐるっと 回る せんろを つくろう

単 元	わくわく算数ひろば ～算数のじゆうけんきゅう～	対象学年	2 年
ね ら い	「線路づくり」の学習を通して、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。		

1 準備するもの

教師： 提示用の線路カード（黒板に貼れる直線4枚、十字3枚、曲線12枚）
ワークシート（スクールタクトで作成、上記と同じ数、線路カードを用意する）

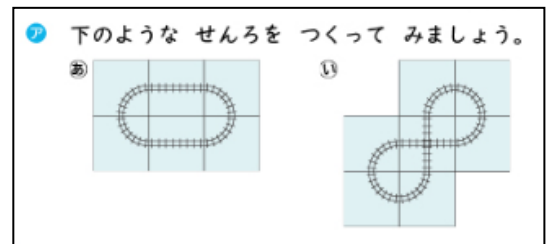


①ワークシート（例）

2 学習のしかた

(1) 場面把握をする。

- ① 教師が事前にした線路図（教科書P98㉞）を提示し、どのカードが何枚必要か見通しをもたせ、代表児童が黒板にカードを貼って線路を作る。
- ② 教科書P98㉞の線路図を提示し、一人一人スクールタクトで㉞の線路を作る。



②教科書 P98 の線路図

(2) 課題設定をする。

本時の課題 いろいろな線ろをつくろう を板書する。

(3) 自力解決をする。

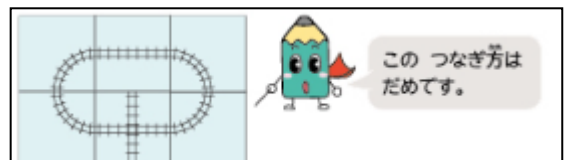
- ・線路のつなぎ方の約束と、全てのカードを使う必要はないことを児童に伝える。
- ・スクールタクトを使って、線路づくりに挑戦する。

＜つなぎ方の約束＞

- ・ぐるっと回るようにつなぐこと。
- ・途中で線路が途切れないこと。

(4) 全体（またはグループ）で意見交換する。

- ・教師がスクールタクトを共同閲覧モードに設定する。
- ・困っている児童は、困り感を発表してアドバイスをもらう。



③間違っつなぎ方（例）

- ・他児童の作品を見て、よいところや改善点を話し合う。

「カードをたくさん使っていてすごいね。」

「ここの線路がつながっていないよ。この2枚を替えるといいよ。」

(5) アドバイスや他の児童のアイデアをふまえて、線路づくりを行う。

(6) 振り返りをする。

線路づくりで工夫したことや楽しかったこと、おもしろかったことを書く。

7月14日 (木)

たくさん線ろがつくれてたのしかったです。十字カードが2まいつかえるようにくふうしました。ちよく線カードがもっとあれば、十字カードがぜんぶつかえると思いました。

④児童の振り返り

3 学習上の留意点

- ・スクールタクトの設定について

①直線と曲線のカードは、児童が回転できるように設定する。

②ページを複数作り、いろいろなパターンの線路が作れるようにする。

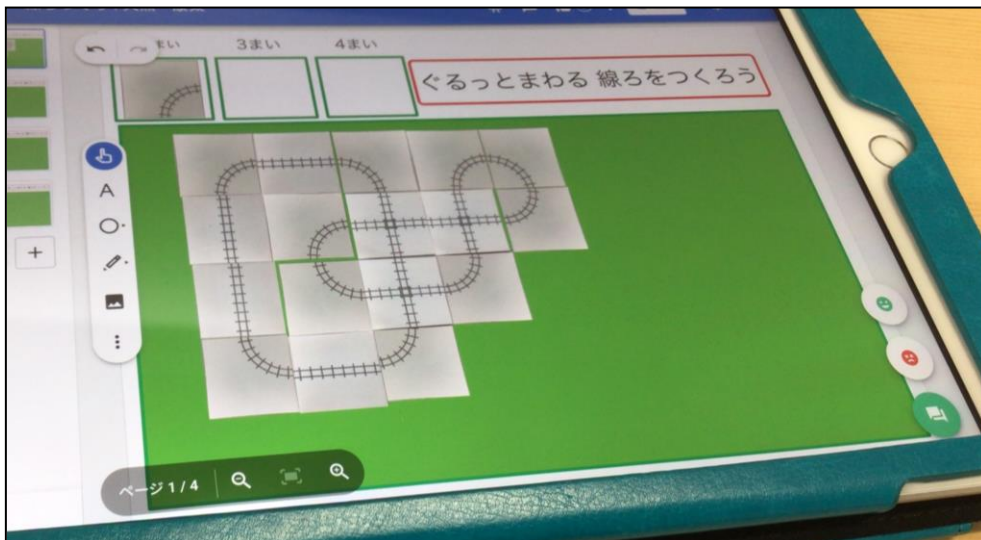
- ・スクールタクトが使えない児童がいた時のために、紙の線路図を数セット用意しておく。



⑤線路カードの設定画面

4 学習の効果

- ・「十字カードを3枚使った線路はどうしたらできるのだろう」「全てのカードを使った線路を作りたいな」など新たな課題を見つけ、試行錯誤しながら粘り強く取り組む姿が見られた。
- ・他の児童の作品から新たな線路のつなぎ方を発見し、自分の作品に取り入れようとする姿が見られた。



⑥全てのカードを使えないか、試行錯誤している